

第16回 東京都公金管理アドバイザー会議 議事要旨

日 時	令和4年1月21日(金) 13:15 ~ 15:00
方 法	WEB会議
出席者	委員) 今井委員、大槻委員、根本委員、幸村委員 計4名 事務局) 堤局長、副島管理部長、伊藤総務課長、安武公金管理課長、瀧澤資金運用担当課長、春日井課長代理、落合課長代理、山根代理、島寄主任、鈴木主任 計10名
欠席者	なし
議 題	1 中間決算を踏まえた評価について (1) 邦銀の中間決算を踏まえた評価について(案) (2) 外銀の中間決算等を踏まえた評価について(案) (3) 債券発行体の動向等を踏まえた評価について(案) 2 今後の公金管理について (1) 金融機関等の非財務的要素に係る評価などについて(案)
要 旨	<p>(1) 会計管理局長挨拶</p> <p>(2) 第16回東京都公金管理アドバイザー会議の公開・非公開の取り決め 事務局 本会議は、新型コロナウイルス感染症の流行を鑑み対面の接触を回避する必要があるため傍聴者の受入れを見合わせた。また、本会議は設置要綱により、公開もしくは非公開について、委員の意見を聞くこととなっている。 委員 議題の内容を踏まえ、全員が非公開とすべきとの意見を表明。</p> <p>(3) 議題1(1)「邦銀の中間決算を踏まえた評価について」 事務局 預金先金融機関(邦銀)の経営状況について、中間決算を踏まえ健全性等の観点から分析を行い、預金先金融機関(邦銀)の評価等を報告した。 委員 預金先金融機関(邦銀)の評価内容とそれに応じた預金の対応については、適正なものとする。 委員 今後金融機関に影響を与える事象として、米金利上昇、感染長期化に伴うサプライチェーン回復の遅れ、無利子無担保融資の返済動向に注視が必要ではないか。 委員 都による金融機関への預金は、相対的にその規模が大きい場合もあることから、都の預金動向が各預金先金融機関の資金調達に影響しないよう注意が必要と考える。</p> <p>(4) 議題1(2)「外銀の中間決算等を踏まえた評価について」 事務局 預金先金融機関(外国銀行)の経営状況について、中間決算等を踏まえ健全性等の観点から分析を行い、預金先金融機関(外国銀行)の評価等を報告した。 委員 預金先金融機関(外国銀行)の評価内容とそれに応じた預金の対応については、適正なものとする。</p>

(5) 議題1(3)「債券発行体の動向等を踏まえた評価について」

事務局 債券発行体の経営状況について、決算等を踏まえて、健全性等の観点から分析を行い、債券発行体の評価等を報告した。

委員 債券発行体の評価内容とそれに応じた債券運用の対応については、適正なものと考ええる。

(6) 議題2(1)「金融機関等の非財務的要素に係る評価などについて」

事務局 公金管理での金融機関等評価に関連する非財務的要素として、ESGの視点などについて説明した。

委員 ESGは重要な要素ではあるものの、公金管理においては、地方自治法で定める安全性・確実性をまず確保する必要がある、その視点でESGを捉えていくという方向性は適切なものと考ええる。

委員 ESGの視点は格付などにも既に織り込まれていることから、ESGの評価が格付に反映されるまでの間の対応として、指標や報道などを参考に判断していくやり方もよいと考える。

委員 金融機関の資金使途として、都の公金が不適切な分野に供給されることのないよう対応していくという観点も重要であると考ええる。

委員 金融機関のリスク評価という視点では、ESGの評価指標や基準等は、現段階では一般化されたものがなく過渡期にあることから、それら整備状況も捕捉しながら、公金管理に適した評価方法を検討していくことが必要と考える。

以上